

(※1) ゼロ市債・ゼロ市債は、通常、新年度に発注する工事について前年度中に債務負担行為を設定し、入札、契約締結まで行うことで、年度内または新年度早々の工事着手を可能とし、支払いは新年度の予算で対応するもの。



むなかた

むなかた

市議会だより

令和2年12月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

令和2年

12月定例会の

あらまし

令和2年第4回宗像市議会定例会が、11月30日から12月18日までの19日間で開催され、市長提案の議案21件、意見書案2件について審議を行いました。
12月1日から12月4日の4日間、17人の議員による一般質問が行われました。(2〜3ページ参照)

全員賛成で可決

機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例

市の組織機構改編による部・課の新設、名称変更などのため、関係する条例の整備が提案されました。
これは、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の対応など喫緊の行政課題に対応するために市の組織を改編するものです。
主な内容は次のとおり

主な議案

デジタル化推進室の新設

新型コロナウイルス感染症対策として、職員



新年、あけましておめでとーございます。



神谷建一 議長

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大が、地域経済、地域社会、そして日常生活に大きな影響をもたらした年となりました。また、大雨や地震、台風など自然災害の多い年でもあり、改めて感染症や自然の脅威を感じるとともに、災害に強いまちづくりの大切さを痛感した年でもありました。
新たな年を迎えても、いまだ感染拡大が収まらない状況ですが、このような時期だからこそ、市民の皆さまの声をしっかりと受け止め政策提案へ

とつなげていくことで、安全・安心なまちづくりを推進していきます。
本市では、昨年10月の改選により、新しい議会がスタートしました。離島振興、地域コミュニティの活性化、産業振興、教育施策などを推進していく上で、本市が抱えるさまざまな課題解決に向け、市民の皆さまの期待に応えられますよう、議員一丸となって努力いたします。
結びになりますが、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

公職選挙法では議員は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。市民の皆さまのご理解をお願いします。

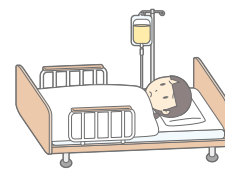
宗像市議会議員一同

全員賛成で可決

宗像市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

宗像市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

県の子ども医療費・重度障害者医療費の支給制度改正に伴って、条例の一部を改正するものです。
これによる主な変更は次のとおりです。
○子ども医療費
県が支給の対象を中学生まで拡大することに伴い、市も新たに中学生の通院に係る医療費の支給を開始。患者の自己負担額は、県の制度に準じ、1医療機関ごとに、ひと月1600円を上限とする。



全員賛成で可決

宗像市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例

宗像市自動車駐車場条例の一部を改正する条例

この条例改正による主な変更は、次のとおりです。
○指定管理者制度の導入
東郷駅日の里口第1自転車等駐車場など4つの自転車等駐車場と日の里口自動車駐車場について、収入と管理に伴う費用の整理ができたため、指定管理者制度を導入し、市直営の管理から指定管理者による管理に移行します。導入は令和4年4月の予定です。
○開場時間の変更
令和3年4月から赤間

主な意見

(賛成者の意見)

社会状況の変化に対し、危機感を持って対応する姿勢を評価する。機構改革によって変化すること、持続可能な宗像市となることを期待するといった意見がありました。

全員賛成で可決

令和2年度一般会計補正予算(第8号・第9号)について

鳥インフルエンザ対策事業費の計上

市内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対処するための事業費を計上。
○鳥インフルエンザ対策事業費の計上
(310万円)
市内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対処するための事業費を計上。
○ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費の増額
(6079万円)
最終日には、国のひとり親世帯臨時特別給付金の給付のため、歳入歳出それぞれ6078万9千円を増額する補正予算案(第9号)が提出され、全員賛成で可決しました。

主な意見

(賛成者の意見)

鳥インフルエンザの防疫措置の対応、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う修学旅行キャンセル料の発生に備えた補助金の創設や、建設工事に対して初めて債務負担行為によるゼロ市債(※1)を活用したことなどを評価する意見がありました。
新型コロナウイルス感染症に関する支援対策については、宿泊業だけでなく飲食業への追加の支援を検討することや、農業者への支援状況を把握し、きめ細かい対応をすることなどを求める要望がありました。



主な意見

(賛成者の意見)

指定管理者制度導入に当たっては、利用状況やサービス、保守などを総合的に判断し、人員体制を含め業務内容をしっかりと検討してほしいという要望がありました。

倒壊などの危険性が疑われる自治会管理の防犯灯
○地域情報化事業費の増額
(5400万円)
コミュニティ・センター及び市民体育館の公衆無線LANを整備するための事業費を計上。
○観光推進事業費の増額
(1600万円)
新型コロナウイルス感染症対策に取り組む宿泊事業者を対象に、新しい生活様式に対応した宿泊環境やワーケーション受け入れ環境の整備などの経費を支援するための事業費を計上。
指定管理者指定の議案はP4へ

令和2年12月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について
市の見解を問うものです。

令和2年12月1日から4日の4日間にわたって、17人の議員が合計
33項目の質問を行いました。

◆質問を行った順に掲載しています。

◆掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。

◆質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは3月下旬
に公開予定の議事録をご覧ください。



大切な釣川のために
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 釣川の持つ価値につ
いて市長の考えは。

答 釣川は本市の生命線
といえ、ふるさとの原風
景を構成する貴重な要素
である。多くの学校の校
歌にもうたわれているこ
となど、本市のシンボル
としてなくてはならない
ものと考えている。

問 釣川の整備を、10万
人の県民の声として県に
上げていくことは重要と
考える。

答 グリーンインフラの活
用策として、多くの市民
に川辺に親しんでもらい
ながら、かつ釣川の現状
を目的の当りにしてもら



赤間大橋付近の釣川護岸の状況



新型コロナウイルス感染症対策は
宗像志政クラブ／伊達 正信



地域包括支援センターの
活用支援は

問 「宗像エール飯」に
参加し、テイクアウトを
始めた飲食店も多いがそ
の効果が今後の動向は。

答 飲食店支援のためS
NSなどで情報発信した。
県内でも早く実施したこ
とで効果があった。以前
の状態に戻るには一定期
間を要すると思われる、引
き続き必要な支援を行っ
ていく。

問 中小企業小口事業資
金借り換えに伴う保証料
補助金の返還免除制度の
利用状況は。

答 令和2年4月28日か
ら開始し11月末までに77
件、約1350万円の利
用があった。



コロナ禍でのサイクルツーリズム
未来むなかた／北崎 正則



問 本市の自転車道路の
整備状況は。

答 十分な幅員が確保で
きていない区間があるこ
と、路面標示や案内標識
などの不足が課題である。

問 さつき松原内の自転
車道路の拡幅工事は。

答 サイクルツーリズム
(※2) のモデルルート
であり、県へ要望する。ま
た、暫定的に路肩部分に
自転車通行帯を整備する
など工夫が検討できる。

問 鐘崎の織幡神社や鐘
の岬織幡通りなどへ誘導
する路面表示や標識の設
置、さつき松原内の駐車
場や織幡神社前のトイレ

守る



などにサイクルスタン
ドの設置ができないか。

答 コロナ禍で、観光の
在り方がサイクルツーリ
ズムやマイクロツーリズ
ムなどの近場観光に変容
しており、検討したい。

その他の質問
・コロナ禍における教育
予算は
・ため池被害から市民を
守る



アフターコロナの観光戦略は
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 宿泊税交付金(※3)
の今年度の使途は。

答 観光DMOの構築支
援事業、体験メニューの
開発事業、観光情報サイ
トのリニューアル事業の
ほか、宿泊施設の受入れ
環境強化や宿泊促進を図
るための事業への充当を
予定している。

問 6次産業化の現状と
推進について

答 生産者が6次産業化
に取り組むことで農業や
漁業を持続的に行うこと
ができるようになるが、促
進するための課題は。
本市のよりに米や麦

を多く作っている農家や、
漁船漁業による漁業が多
い地域では、生産者の負
担が大きく、加工や販売
まで手が回らないのでは
ないか。また、一つ一つ
の経営規模が小さいこと
による資金不足など、6
次産業化のノウハウや技
術を持っていないことな
どが課題であると考えて



ワクチン接種費用補助の拡大を
公明党／岡本 陽子



問 子どもががん治療の
ために骨髄移植を受ける
と、予防接種で得た免疫
効果の低下や抗体の消失
により、再接種が必要な
場合があるが、その費用
は自己負担となる。再接
種費用を助成できないか。

答 1人約5万円の予算
が必要。来年度からの実
施を想定し、検討したい。

問 インフルエンザの予
防接種について、小児に
対する助成拡充と、高齢
者がかかりつけ医を持た
ない場合でもスムーズな
接種が可能となる対策は。

答 中学三年生以外の子
どもに対する助成拡充は、
来年度から実施予定



観光戦略の具体像は
日本維新の会／岩岡 良



問 本市では、国道49
5号沿いを観光・レクリ
エーションの中心とする
べく、その活性化に取り
組んでいるが、現時点で
は、宗像市を大きく活性
化させるような変化は見
えないため、より具体的
な観光ビジョンを伺う。

答 2025年度までに、
道の駅周辺に大型の商業
施設の誘致を図る。

問 こみ収集の現状につ
いて

答 自宅の前がごみの収
集場所になっている住民
は、日常の負担に加え、
今では新型コロナウイルス
の感染リスクまで高ま

るという過重負担を強い
られている。このリスク
を軽減するためにも、ご
み収集を戸別収集に切り
替えることはできないか。
答 現在のステーション
方式を継続していくが、
市内に約3200カ所あ
る収集場所において、特
定の住民に負担が生じる
のは望ましくないため
まずは、実態調査を行っ
ていく。



小児がん対策の多面的取り組みを
未来むなかた／上野 崇之



問 小児がん治療後の定
期予防接種費用助成とあ
わせ、小児がん経験者の
ライフステージに応じた
支援を検討すべきでは。

答 再接種費用を助成す
る市町村に対し県が補助
を始めており、助成内容
を検討したい。支援面
では、当事者の気持ちに寄
り添う支援だけでなく、
周囲の意識を変える取
り

問 小児・AYA世代※
4 がん患者在宅療養生
活支援事業の取り組みは。
来年度から実施予定

答 小児・AYA世代※
4 がん患者在宅療養生
活支援事業の取り組みは。
来年度から実施予定

問 地域での生活や就労
に向けた支援を要する中
高生の障がい児対象に、
放課後等デイサービス事
業所と連携する支援策は。
答 自立生活や就職につ
なぐにはライフステー
ジを通じた切れ目のない支援
が重要。中高生向けの事
業所が少ない状況もある
が、必要な療育を質、量
ともに十分提供できる体
制の充実を検討している。



宗像の豊かな海を守る取り組み
宗像志政クラブ／森田 卓也



問 以前提案した素焼き
玉(※5)を利用した二
枚貝の再生事業の実験中、
釣川河口域にてハマグリ
の生息が確認できた。ハ
マグリは福岡県レッド
データブックで絶滅危惧
II類と評価されており、
対策が必要ではないか。

答 漁業権を持つ漁協な
どと対策を考えたい。

問 ハマグリ資源管理
を徹底し、新たなブラン
ドとして水産振興につな
げてはどうか。

答 商用ベースや観光資
源としての取り組みが可
能なのか漁協などと協議
する。また、釣川河口の

砂の堆積に対し地元から
しゅんせつ要望もあり、
資源管理と治水の両面を
考慮し、検討していく。



釣川河口域で採取したハマグリ

(※2) サイクルツーリズム＝自転車を活用した観光や地域づくりの総称。
(※3) 宿泊税交付金＝福岡県宿泊税の一部を活用し、市町村の観光振興の財源支援として新たに創設された交付金のこと。
(※4) AYA世代＝Adolescent and Young Adult (思春期・若年成人) の頭文字をとったもので、主に、15歳から30歳代までの世代を指す。
(※5) 素焼き玉＝粘土とかき殻粉未などを混ぜ合わせ、8〜15mm程度に丸めて素焼きしたもの。



団地再生の未来像は 宗像志政クラブ／吉田 剛



問 団地再生の必要性和意義は。

答 団地機能の回復だけでなく地域経済の活力や持続可能な社会へつなげ、ウィズコロナの新しい暮らし方を実現する宗像へと再生することである。

問 東郷駅前の高層集合住宅103、104号棟の再生計画の状況は。

答 地域住民を対象としたワークショップを開き、跡地活用について意見を聞く予定としている。

問 オンデマンドバスの採算性は。

答 黒字運営となるよう住民への周知や利用促進

に取り組み、ゆくゆくは民間事業者へ移行できるよう努力する。

問 団地再生の流れで日の里コミセンを移設すべきでは。必要性の認識は。

答 日の里コミセンは急傾斜地にあり避難所の問題などがある。引き続き、地域住民の考えをしつかり聞き、協議していく。



投票率の向上に向けた取り組みを 公明党／石松 和敏



問 商業施設における期日前投票所の増設は、投票率向上に有効な手段と考える。サンリブ宗像店における開設は、いつから予定しているのか。

答 令和4年に実施する宗像市長選挙を目標に取り組んでいく。

問 期日前投票所を増設する時は、何日間程度の実施を考えているのか。

答 商業施設と調整しながら、集客数が多い曜日の1日または2日間で開催できるよう検討する。

問 今回の宗像市議選で話題になった選挙割サービスは、投票率向上に寄

与したと考える。選挙割サービスの実施を全市的に呼びかけることはできないか。

答 選挙管理委員会にも選挙割サービスに関する問い合わせが多数あり、市民の関心が高かったことは承知している。全市民的な取り組みは、関係部署と協議し検討する。



防災に対する市の考えを問う 市民連合／福田 昭彦



近年、異常気象などによる災害が多発、今年は宗像市にも巨大台風10号が直撃する恐れがあった。

問 地区防災計画の作成は地区が行うものであるが、その進捗状況は。

答 地域に作成を働きかけたがなかなか進んでいないため、今は市も一緒に取り組んでいる。一部の地域は、防災士会を立ち上げ、平常時の取り組みや災害警戒時の役割分担などを行っている。

問 災害時、自主防災組織はどれほど機能するか。

答 自助・共助の部分を担ってもらうことが重要

である。被害拡大を抑えるためにも、自主防災組織の活動強化を支援していく。

問 市の防災マップによる防災啓発効果は。

答 避難勧告発令時に市への問い合わせが減り、避難者の人数も増えていることから、一定の効果があったと考える。



大島に住み続けられる支援策を 日本共産党／新留 久味子



島民にとって渡船は、なくてはならない生活航路。島民の命と暮らしを守るために提案する。

問 中学生の部活動時の渡船料金補助の検討を。

答 大会前の経費については補助しており、市内では大島学園だけである。さらなる補助は難しい。

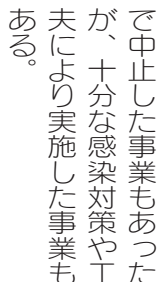
問 島を出て高校に通う

生徒に支援策の検討を。

答 通学に対する補助制度は離島居住者を対象としており、島外に出ている生徒への補助は難しい。

問 新生児1カ月健診時の渡船料金補助の検討を。

答 市の事業ではないため補助は難しいが、市の事業については拡充できるよう準備を進めている。



離島の医療体制確保について 日本共産党／川内 亮



問 離島在住の末期がん患者が在宅看取りを希望する場合、夜間急変時に医師が海上タクシーを使って往診に行きやすくするための交通費補助制度を検討できないか。

答 市で定めた要綱による現状の渡船運賃分以上の補助は考えていない。

鐘崎・岬地区を 住みよきまちに

鐘崎・岬地区は診療所やスーパーもなく住みづらい地域となっている。

問 診療所がないことに対する対策は。

答 無医地区認定に向け



て県と協議を行っている。また、コミュニティ運営協議会とも協議し、疾病予防の取り組みへ力を入れることを検討している。

問 スーパーや直売所などの開業支援は。

答 新規創業を支援する仕組みがあるため、開業希望者がいれば市と関係機関とで支援したい。



コロナ禍での孤立から安心へ ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝



問 コロナ禍の中、地域で孤立する人がいないよう、見守りや支え合いの仕組みを点検し、見直す必要は。

答 今は地域包括支援センターや民生委員などの支援で成り立っている。内部でも協議し、今後さらに充実を図る。

問 産後ケア事業の内容申請期間、その見直しは。

答 母子ともに入院し、助産師から指導を受けながら、産後の育児不安の軽減を図るもの。申請期間は産後20日以内。利用者のニーズに対応できるよう、申請期間は産後4

月以上を目指して見直しを検討したい。



これからの就労支援について 宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 障がい者の就労支援における成果は。

答 就労支援の相談件数は昨年度約3500件、支援サービス利用者は今年度見込で276人と年々増加している。

問 ひきこもり状態にある方への支援の成果は。

答 生活支援課自立支援係を窓口とし、本人や家族の相談を行っている。



現在までに3人の就労に繋がった。

問 就労支援を総合的に考えていくため、農福連携を視野に入れている。正助ふるさと村の活用は可能か。

答 障がい者やひきこもりの方への就労支援として活用することは十分可能であると考えている。

問 今後公共施設を効果的かつ効果的に運用する上で、広域的な視野での検討が必要と考えるが。

答 広域的な視野での行政運営は不可欠と考える。



子どもが心豊かに育つまちづくり 宗像志政クラブ／石松 修



問 子どもたちにさまざまな文化芸術に触れる機会を提供している宗像市文化芸術振興条例に基づき10年ビジョンの状況は。

答 10年ビジョンは今年度が最終年度であり検証と評価を行う。次期も多様な文化芸術を継続して推進し、関連分野との連携を図れるものになりたい。

ユリックスは新型「コロナ

SNSなごいね 情報発信の状況は

問 市の魅力や生活、防災情報などの発信に有効と思われる各種SNSの開設状況は。また、LINEの登録者数の目標は。

答 フェイスブック、LINE、ユーチューブ、インスタグラムに市の公式アカウントを開設している。9月に開設したLINEは登録者数1万人を目標とし、今年度中に3千人を達成したい。

問 宗像医師会病院に対する支援協議の進捗は。

答 宗像市、福津市、宗像医師会と宗像医師会病院で医師会病院の今後についての検討委員会を充足した。この中で、さらに協議を行っている。

問 県が高齢者や障がい者施設などの従事者に1人3回を上限にPCR検査を実施しているため、その状況を見守りたい。



問 渡船満員時に島民が積み残された時の海上タクシー料金割引の検討を。また、島民の手荷物料金を無料にできないか。

答 地元説明会でも同様の意見があり、航路再編計画と併せて検討する。

指定管理者制度とは

公の施設の管理に民間の能力を活用することで、住民サービスの向上や経費削減などを図ることを目的に、市が指定する民間事業者など幅広い団体（指定管理者）に公の施設の管理運営を委ねる制度。その指定には議会の議決が必要。

指定管理者決定までの流れ

公募または非公募で、市が選考対象者を決定

選定委員会の開催

市における指定管理者（候補者）を決定

宗像市議会での議決

指定管理者が決定

継続

正助ふるさと村は株式会社正助ふるさと村に全員賛成で可決

株式会社正助ふるさと村は地域に根差した団体であり、今後も事業効果が期待できることから、引き続き同社を指定管理者とする提案がなされました。

正助ふるさと村は株式会社正助ふるさと村に全員賛成で可決

継続

うみんぐ大島は株式会社むなかた大島に全員賛成で可決

株式会社むなかた大島は10年近い実績があり、今後も大島の地域活性化への寄与が期待できることから、引き続き同社を指定管理者とする提案がなされました。

うみんぐ大島は株式会社むなかた大島に全員賛成で可決

継続

かのこの里はとれとれプラザかのこの里利用組合に全員賛成で可決

とれとれプラザかのこの里利用組合は、これまでも農業者の生産力向上、経営安定化を実現。農業振興や地域活性化の役割を果たし、年間3億3千万円程度の販売額を維持していることも評価できることから、引き続き同組合を指定管理者とする提案がなされました。

かのこの里はとれとれプラザかのこの里利用組合に全員賛成で可決



かのこの里

●●● 令和2年第4回宗像市議会定例会 賛否が分かれた議案名と議決結果 ●●●

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案 番号	議 案 名	議員 氏名	議決 結果	川内	石松	木藤	石田	岩岡	上野	井浦	笠井	小林	吉田	森田	安部	岡本	北崎	伊達	福田	新留	石松	末吉
				亮	修	裕司	和代志	良	崇之	潤也	香奈枝	栄二	剛	卓也	芳英	陽子	正則	正信	昭彦	久味子	和敏	孝
87	宗像市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆
意見書案 第4号	新しい生活様式を踏まえた少人数学級編制の実現を求める意見書の提出について	否決	○	◆	◆	◆	○	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	◆	○

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。
※その他の議案についてはホームページでご覧いただけます。

意見書

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書（全員賛成で可決）

（要旨）
提案理由
国においては2004年度から「特定不妊治療助成事業」が創設され、段階的に拡充しているが、不妊治療の保険適用は一部に限られ、不妊治療を行う人にとって過重な経済負担になっている。保険適用の拡大及び所得制限の撤廃も含めた助成制度の拡充は、早急に解決すべき課題である。よって、政府に対し不妊治療を行う人々が今後も安心して治療ができるよう求めるものである。

1 不妊治療の保険適用の拡大は、治療の選択肢を狭めることのないように配慮すること。

2 不妊治療の保険適用の拡大実施まで、既存の助成制度の拡充により、幅広い世帯を対象とした経済的負担の軽減を図ること。

3 不妊治療と仕事を両立できる環境を整備し、相談体制の拡充を図ること。

4 不育症への保険適用や事実婚への不妊治療の保険適用、助成についても検討すること。

（議決結果）
全員賛成で可決し、国へ意見書を提出しました。

私たちが議会広報を編集します

議会広報編集委員会

議会広報編集部会

議会広報編集部会のメンバーが新しくなりました。
今後も議会から発信する情報をより分かりやすく、より見やすく、市民が読みたくなる議会広報を目指します。

マチイロ

「議会だより」のアプリ配信を行っています

アプリをダウンロードして登録すると、議会だよりや市広報紙が定期的に配信されます。

登録方法
①右下記コードからアプリをダウンロード。または「マチイロ」で検索
②簡単な個人設定（生年月日、居住地）
③「広報誌追加」で宗像市を選択
④「むなかた市議会だよりの『読者になる』」を選択

※議会だよりは令和2年3月定例会号分から配信しています。
※アプリは無料ですがダウンロードや情報受信に通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

3月定例会の（予定）日程

日程	内容
2/26 金	本会議（施政方針、議案上程、提案理由の説明）
3/2 火	本会議（代表質問）
3 水	本会議（一般質問）
4 木	本会議（一般質問）
5 金	本会議（一般質問、大綱質疑）
8 月	本会議予備日
9 火	総務常任委員会
10 水	社会常任委員会
11 木	建設産業常任委員会
12 金	考案日
15 月	予算第1特別委員会（※1）
16 火	予算第1特別委員会（※1）
18 木	予算第2特別委員会（※2）
19 金	予算第2特別委員会（※2）
22 月	委員会予備日
26 金	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

※1 予算第1：一般会計
※2 予算第2：特別会計・企業会計

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ TEL0940(36)1119

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
請願の提出締切日は2月19日（金）です。
本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などが変更になる場合があります。また状況により傍聴を制限することもあるため、事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。